

大使挨拶

本日、ブラジル政府、ブラジル軍、外交団、各界の皆様、そして日系社会の皆様を、大使公邸にお迎えし、自衛隊記念日レセプションを開催できることを誠に喜ばしく思います。

現在、国際社会は大きな変化を迎え、安全保障環境は一層複雑かつ厳しさを増しています。この一年、自衛隊は防衛力の抜本的強化に向け前進を遂げました。特に本年三月には、陸海空の領域に加え、宇宙・サイバーなど新領域を含む部隊を平素から一元的に指揮する「統合作戦司令部」が発足しました。これにより、自衛隊の統合運用能力は大きく向上し、より迅速かつ効果的な対応が可能となりました。

また戦略的パートナーシップ強化のため防衛装備品の輸出も緩和しました。日本は、従前からの「平和国家」の理念や「専守防衛」の原則を維持しつつ、米国との同盟強化に加え、同志国などとの共同訓練や防衛協力を拡大しています。

日本とブラジルは130年以上にわたる友好の歴史を有しています。民主主義、法の支配、多国間協調といった基本的価値を共有する日本とブラジルは、国際社会の平和と安定という共通の目標を有しています。私は、両国の防衛協力には今後さらに大きな可能性があるかと確信しています。人材交流、防衛当局間の対話、国際平和協力、災害対応など、協力の余地は幅広く存在します。

この日伯防衛交流に関し、ブラジル軍の日系将官と日系ブラジル人、在伯の日本公館相互の親善をはかる日系将官会が5回目を迎えることができました。これを記念し後ほど、これまで開催に貢献されたりベルダーデ友好会、宮坂国人財団、ブラジル日本文化福祉協会の3団体に感謝の意を表すため表彰します。

本日は在外公館料理人が腕を振るった日本料理と、えりすぐりの日本酒で皆様を歓迎いたします。また日系企業のYKK及び日清も展示や試食をおこなっております。ぜひ歓談の時間中に各展示企業を見回ってください。寿司のデモンストレーションもご覧ください。

この時期はどうしてもサッカー・ワールドカップの話題になります。日本は先日の対ブラジル戦で敗退し残念ですが、今後はブラジルを応援し、その6回目の優勝を期待します。

結びに、本日ご臨席の皆様の日頃からの日伯防衛交流へのご支援とご協力に深く感謝申し上げますとともに、日本とブラジルの友好関係、自衛隊とブラジル軍との交流が一層発展することを祈念し、私の挨拶とします。ありがとうございました。